



あけましておめでとうございます

昨年は令和の米騒動が沈静化しきれていない状況で備蓄米の意制限放出等が世間を賑わせていましたが、当社でもカントリー運営委員会で提案された「令和7、8年産の自家消費米の対応案」による構成員への影響を考慮し、主食用米5haの作付に踏み切ることとなりました。初年に当たる今年は、町集落にご協力いただき、栽培管理に励む所存です。そういった世情を踏まえ、令和8年の兆候を探った際、どうやら今年は「選挙と農政」が重なる年とされ、地方選挙や国政選挙の動向次第で農業予算や補助制度の方向性が変化する兆しのようなようです。これほどまでに政情と農業の距離が近くなったのは、食料問題が国防に近いテーマになっていることが関係しているとのこと。また、空港アクセス鉄道等の説明会も本格的に動き出し、当社を取り巻く環境はより一層変化していくものと思われまます。そういった変化に構成員の皆様と臨めたらと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

ネットワーク大津(株) 10、11、12月の主な行事

10/12	SGS 収穫終了	11/10	麦栽培講習会(参加)
10/17	女性部打ち合せ	11/11	県立農大生研修受入(~11/21 まで)
10/23	稲刈り体験(中止)	11/19	九州農政局記者説明会
11/7	子実トウモロコシに関する勉強会	11/27	地域営農法人育成セミナー
		12/25	作業委託管理費(年末精算)の支払い

視察研修受入れ

- 11/11 北海道鷹栖町農業委員会 12/2 JA 球磨
12/5 宮崎県北諸県農業改良普及センター※現地に講師(徳永社長)派遣

定例取締役会：主な内容について

10/6 第1号議案 固定資産(麦播種機)の導入について

本社に於いて80haの麦播種を現状6台で行っていますが、そのうちの1台が経年劣化により使用できない事態となりましたので、播種機1台を導入する協議を行いました。

アグリテクノサーチ 麦播種機6条 RXG-6SK(2000) 1台 1,111,000円

協議の結果、出席取締役全員賛成で承認、可決されました。

11/4 第1号議案 担い手対策パートナー支援資金について

今回の貸し付けについて「肥料・農薬・種子等、資材の70%以上のJA利用及び交付金を含む販売高の50%以上のJAへの入金確認により金利0%にて貸し付けできること」の条件等の説明を行い協議に諮りました。

協議の結果、出席取締役全員賛成で承認、可決されました。

12/1 第1号議案 年末賞与支給について

4ヶ月間の経常利益はマイナスで推移していますが、前年と比べ良好であり、3月以降に数量払い交付金や産地交付金等の収入も踏まえると経常利益は向上する見通しです。また、麦・大豆の収量を増やす為、品種変更や技術向上を行う経営に繋げていく為の努力を社員も行っていることを踏まえ支給の協議に諮りました。協議の結果、出席取締役全員賛成で承認、可決されました。

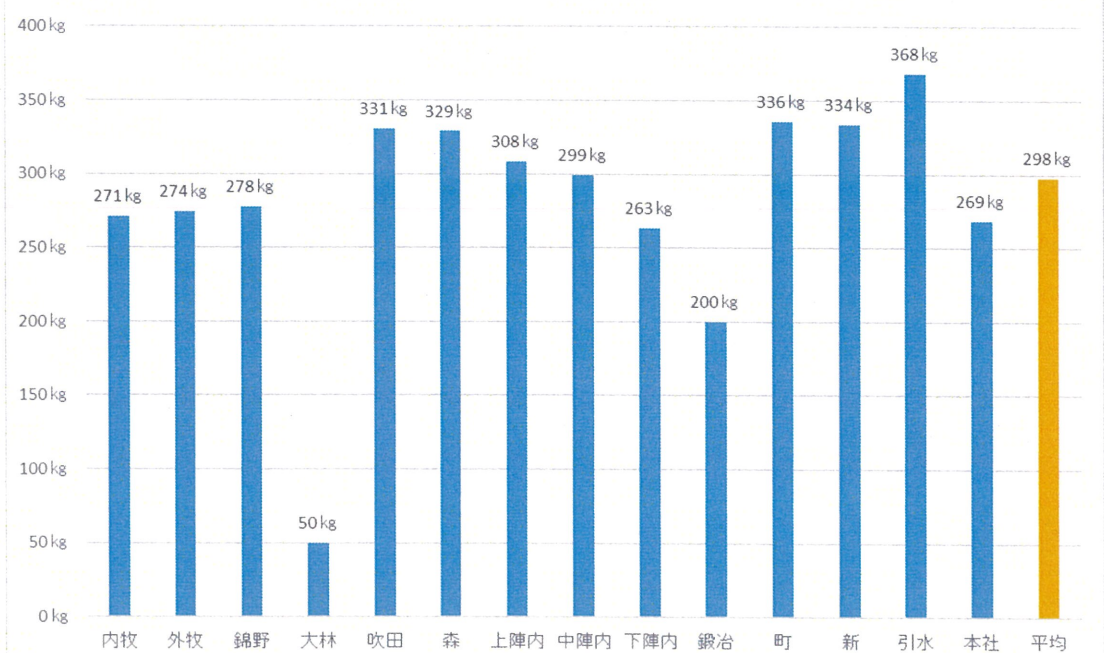
※令和7年産も大麦(はるしずく)は1等級がつかず小麦(ミナミノカオリ)においても全て2等級以下となりました。

令和7年産 大麦(はるしずく)

※収量を算出するにあたり、すき込み等による未収穫圃場の作付面積は除外しております。

集落	作付面積		合計	重量 (2等級)	10aあたり
	田	畑			
内牧	116,340 m ²	-	116,340 m ²	31,564 kg	271 kg
外牧	105,360 m ²	-	105,360 m ²	28,902 kg	274 kg
錦野	103,320 m ²	21,820 m ²	125,140 m ²	34,739 kg	278 kg
大林	-	11,000 m ²	11,000 m ²	548 kg	50 kg
吹田	95,658 m ²	13,211 m ²	108,869 m ²	35,989 kg	331 kg
森	79,830 m ²	25,198 m ²	105,028 m ²	34,541 kg	329 kg
上陣内	130,122 m ²	22,464 m ²	152,586 m ²	47,039 kg	308 kg
中陣内	104,270 m ²	4,700 m ²	108,970 m ²	32,619 kg	299 kg
下陣内	65,310 m ²	-	65,310 m ²	17,201 kg	263 kg
鍛冶	86,380 m ²	-	86,380 m ²	17,262 kg	200 kg
町	136,825 m ²	-	136,825 m ²	45,948 kg	336 kg
新	16,830 m ²	-	16,830 m ²	5,621 kg	334 kg
引水	145,794 m ²	8,200 m ²	153,994 m ²	56,698 kg	368 kg
本社	120,120 m ²	-	120,120 m ²	32,263 kg	269 kg
合計	1,306,159 m ²	106,593 m ²	1,412,752 m ²	420,934 kg	平均 298 kg

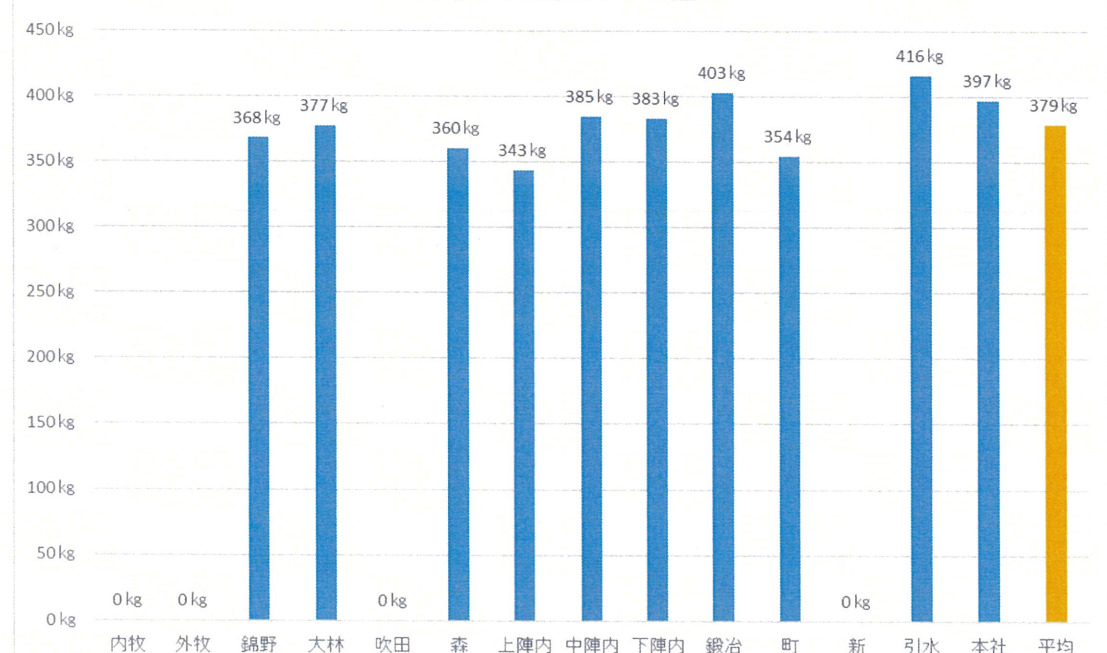
大麦 10aあたりの収量



令和7年産 小麦(ミナミノカオリ)

集落	作付面積		合計	重量 (2等級)	10aあたり
	田	畑			
内牧	-	-	-	-	-
外牧	-	-	-	-	-
錦野	140,410 m ²	3,794 m ²	144,204 m ²	53,081 kg	368 kg
大林	75,048 m ²	-	75,048 m ²	28,302 kg	377 kg
吹田	-	-	-	-	-
森	36,190 m ²	-	36,190 m ²	13,045 kg	360 kg
上陣内	75,900 m ²	-	75,900 m ²	26,061 kg	343 kg
中陣内	36,068 m ²	478 m ²	36,546 m ²	14,058 kg	385 kg
下陣内	40,870 m ²	3,846 m ²	44,716 m ²	17,126 kg	383 kg
鍛冶	75,399 m ²	-	75,399 m ²	30,392 kg	403 kg
町	111,840 m ²	-	111,840 m ²	39,623 kg	354 kg
新	-	-	-	-	-
引水	111,350 m ²	-	111,350 m ²	46,367 kg	416 kg
本社	80,859 m ²	1,000 m ²	81,859 m ²	32,509 kg	397 kg
合計	783,934 m ²	9,118 m ²	793,052 m ²	300,564 kg	平均 379 kg

小麦 10aあたりの収量



令和7年産 麦の品代について ※JAにお話を伺いました

全国的に見て令和7年産麦の作付は、調査対象外となった2県を除き、増加傾向14県、前年並み7県、減少傾向24県となっており、熊本県(経済連取扱分)では大麦2,550ha(前年比100%)、小麦5,180ha(前年比99%)と、ほぼ横ばいの状況です。そのような中、全国的な需給の見通しとして、大麦は外国産の割高感により国内産への切り替えが進み、焼酎用途などの需要により購入希望数量が増加しているとのこと。そこに近年の収量低下が重なり需給の関係で品代が上昇したと見受けられます。対して小麦は外国産(EU諸国・中国・ロシア・カナダ等)の豊作により、世界的に生産量が消費量を上回り、需給の緩和が見込まれ、品代の低下に繋がった模様です。

品代仮渡

年産	10a当り					
	はるしずく(1俵50kg)			ミナミノカオリ(1俵60kg)		
	等級	単価	重量	等級	単価	重量
令和7年	2等級	1,000円	5.9俵	2等級	840円	6.3俵
令和6年	2等級	800円	3.6俵	2等級	900円	5.0俵
令和5年	2等級	800円	6.6俵	1等級	1,440円	6.3俵
令和4年	1等級2等級均し	817円	8.1俵	1等級	1,320円	7.6俵

TMR 事業報告

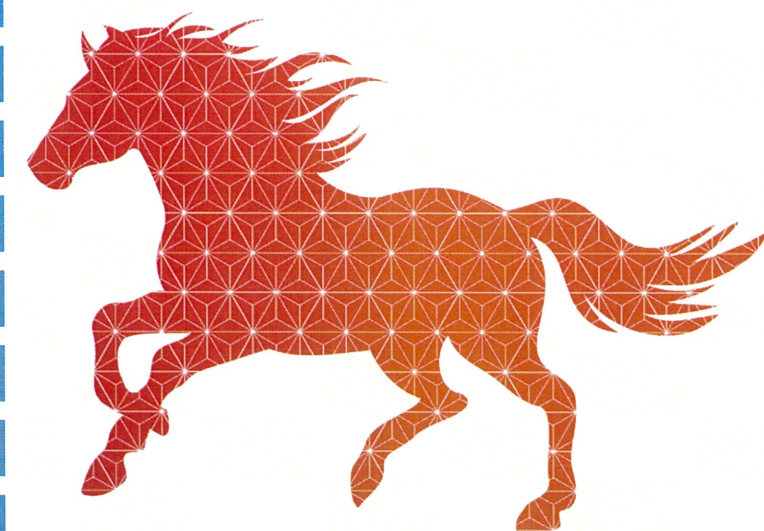


9月末時点での在庫数

繁殖	156,324Kg
肥育	627,615Kg
搾乳	128,367Kg

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
10月	105,486 kg	81,079 kg	146,686 kg	265,293 kg
11月	78,802 kg	78,263 kg	316,931 kg	261,643 kg
12月	66,000 kg	72,953 kg	329,821 kg	300,000 kg
合計	250,288 kg	232,295 kg	793,438 kg	826,936 kg

	TMR(搾乳)		3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
10月	0 kg	60,092 kg	252,172 kg	406,464 kg
11月	9,708 kg	42,494 kg	405,441 kg	382,400 kg
12月	0 kg	0 kg	395,821 kg	372,953 kg
合計	9,708 kg	102,586 kg	1,053,434 kg	1,161,817 kg



子実トウモロコシの試み

前号で徳永社長の挨拶文にあったように、昨年当社では子実トウモロコシの試験栽培に携わりました。今回の取り組みでは管内で試験栽培→収穫ではなく、旭志の川辺(地名)で栽培されていたものをヤンマー、他関係機関ご協力を得て収穫、TMRセンターへ運搬し、SGS同様の製造工程にてサイレージ化しました。今回、収穫時の水分量が30〜35%と、目安にしていた水分量(25〜30%)より高い状態ではありましたが、収穫・製造においては特に問題なく完了することが出来ました。しかし、収穫物に混入している大きめの芯が粉砕機に入りきれず、粉砕投入口で子実粉砕の妨げとなり、結果、想定していた製造時間より時間が掛かるという事態となりました。作業員を粉砕機に常駐させ対処しましたが、除去することと、安



たり機械の停止を要すること、安全面も考慮する必要があることから、製造ラインに粗選機を導入する案や、粉砕機自体をそういったものも粉砕できる仕様に取り換える、といった対応策を検討していく必要があります。管内での栽培に向け、今回の件を糧とし、今後も試みは継続していく予定です。

稲刈り体験

今年の稲刈り体験は悪天候により中止となり残念でしたが、女性部で新米のおにぎりを約200名分作り、子供達へ配布しました。

※みかんちゃんをJA菊池より提供して頂きました。ありがとうございました。



ご協力ありがとうございました！！

今後の予定

毎月 第1月曜日 定例取締役会

1/6	仕事始め 窪田阿蘇神社新年参拝 取締役会	1月中旬	確定申告証明書決済会議(西田税理士)
1/6	令和8年 水稲・大豆農作業委託申込書の配布	1/30	確定申告等添付証明書の郵送
1/6	令和8年 水稲稲わら堆肥調査書の配布	2/6	麦踏み体験
2月下旬	上期監査		



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427
TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909
HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章